

平成 30 年 11 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(J A S D A Q ・ コード番号 2 4 9 8)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル ミャンマー国ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズ1起工式

2018年11月11日、ミャンマー国ヤンゴン近郊のニャウンレビンにおいて、『ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業(フェーズ1)』の8パッケージのうち2パッケージである CP102 (バゴー～ニャウンレビン間) および CP103 (ニャウンレビン～タンゲー間) (円借款供与額 450 億円) の起工式が行われました。式典には、タン・ズィン・マウン運輸通信大臣、トゥレイン・ウィン・ミャンマー国鉄総裁、丸山市郎在ミャンマー日本大使、唐澤雅幸 JICA ミャンマー事務所長等多数の要人が出席されました。

ヤンゴン・マンダレー線(約 620km)は約 130 年前から国の経済動脈であり、ミャンマー最大の商業都市ヤンゴン(人口約 510 万人)、首都ネピドー(人口約 92 万人)、第二の商業都市であるマンダレー(人口約 100 万人)を結ぶ重要な交通幹線です。しかし、同線の橋梁、信号等の設備並びに車両の老朽化が進み、列車走行速度の低下・遅延・脱線事故等が生じており、輸送サービスの低下が課題となっていました。ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業は、これらの改修・近代化を実施し、旅客・貨物の安全性や輸送能力を向上させ、同国の経済発展に寄与することを目的としたものです。

当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:米澤栄二)は、2014 年から開始した本事業フェーズ1(ヤンゴン・タンゲー間 270 km)の詳細設計に引き続き、日本コンサルタンツ株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社トーニチコンサルタント、日本工営株式会社 JV で入札支援、施工監理業務を担当し、2 区間の施工では、CP102 は鉄建建設株式会社・りんかい日産建設株式会社 JV および CP103 は東急建設株式会社が担当いたします。本事業により、2023 年にはヤンゴン～タンゲー間の所要時間(旅客)が6時間から3時間に短縮されることが期待されています。



起工式の様子

左から 2 番目 米澤栄二(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル
代表取締役社長

左から 4 人目 タン・ズィン・マウン運輸通信大臣

左から 6 人目 丸山市郎在ミャンマー日本大使



タン・ズィン・マウン運輸通信大臣(右)と握手を交
わす米澤栄二(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル代表取締役
社長(左)

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020

URL: <http://ww2.ocgglobal.jp/>

広報・渉外室 菅原史緒